

上宝かわら版 2023年 夏の号



飛騨上宝自然人倶楽部

HIDAKAMITAKARA SHIZENJINCLUB



9月21日(木) 宮原旧富奥邸の
リニューアル工事が完成します

富奥正哉さんの意思を継承した弊社の「宮原 やわらぎのその」構想は以下のとおりです。

- ◆上宝宮原で14代続いた富奥家の建物の保存 (全室内改修)
- ◆富奥家に保存されてきた歴史的な文物の保存と展示 (ギャラリー)
- ◆上宝を中心に地元の方々が寄り合える場所の提供 (喫茶・食事処)
- ◆都会の方々が自然豊かな上宝で滞在できる場所の提供 (ゲストルーム)
- ◆無除草剤・無農薬・無堆肥・の自然栽培農業への取組 (野菜と米の製造販売)
- ◆金沢大学の学生と地元の子供達の交流の場 (金沢大学 上宝ゼミ)



2階に設けられるギャラリースペースでは、富奥家保存の文物を展示致します。展示物は不定期ですが入れ替えをする予定です。



2階には3つのゲストルームがあり、上宝の自然を満喫して頂ける場所となります(旅館業ではありません)。

(立派な梁が見事です)



皆さんが気楽にお出かけ頂けるような茶処にしたいと考えています。入口のカウンターから奥に広がるスペースで、庭にはワンちゃんと一緒に座れる席を作ろうと計画中です。



2階からは自然栽培の畑が見渡せます。

季節ごとにできる農作物や、四季折々の上宝の風景を楽しむことができそうです。



弊社設立(2016年)以来思い描いていた、上宝の皆さんと共同して周辺地域と結び合えるような企画が、やっと実現できるような気がします。

神性農業塾の廣さんの講義と耕作指導は面白い！！

受講生としての私の廣さんの講義に対する感想です(金住)。

3月19日から11月12日迄10回にわたる「神性」農業塾の講義は、おそらく日本初の内容になるでしょう。廣さん自身も、自分の講義で今まで語りたくても語れなかった内容を、この機会に語りたと言っていました。要旨をまとめます。

「自然栽培はテクニックではない。

精神性豊かな人間の持つ愛の限りを尽くして作物に寄り添わなければ、作物は本物として育たない。

人間の愛に支えられた作物は、太陽と水の力を借りて土壌の中に根を張り、土壌の微生物が醸し出す栄養を吸い上げて成長する。

それらすべてのエネルギーが円滑に循環する限り、作物は何らの人工的作為を必要とすることなく順調に生育する。

そしてその作物の命の母は土壌だ。

命の母である土壌が健康であれば、作物は健康に育つ。

自然栽培とは、命の母なる土壌を健康に保ち、その土壌に適した作物を、作物の好む環境の中で育成するのだ。

自然栽培は難しくない。

上宝の土壌は、農業に適した黒ボク土で、この土壌が化学農薬などで破壊されない限り自然栽培は成功する。

事実、去年まで米作りの田んぼであった宮原の農地で、今年初めて実践した自然栽培が、想像以上に成果を上げている。

ただ、自然栽培の担い手は、神聖な愛ある人間でなければならない。

神聖な愛のない人間によってテクニックだけで育てられた栽培は、自然栽培ではない。

神聖な愛ある人間を育てるには、今世間に流布している間違っただけの情報に代わる真実の情報を知らなくてはならない。

その新しい情報に基づく世界観をもって、愛ある自然栽培の耕作人になって欲しい。」

廣さんはそんな使命感に燃えて、この講義の中で次々に驚くべき情報を私達に提供してくれています。私はそんな廣さんに共感し、廣さんの講義を毎回楽しみにしているのです。

廣 和仁さんは奇跡のリンゴで有名な木村秋則さんの愛弟子です。また、現在富山県在住ですが、これから2年間、富山県の「とやま有機農業推進アドバイザー」として活動することになりました。自然栽培が有機農業関連として認められたことは大きな成果ですよ。また自然栽培の普及活動に大きな影響があると思います。

上宝の農業に適した土壌でも自然栽培を広げられたら良いですね。





自然栽培の理論に、
量子力学、霊的な要素を取り入れた学び。

上宝 神性 農業塾

講師
廣 和仁

定員 18名

受講料
66,000円
再受講割引あり 55,000円
(オンライン塾も開塾します)

お申し込みはこちら



申込みメ切: 3/10
全10回 3/19開塾
受講場所: 岐阜県高山市上宝町
(詳細は裏面をご確認ください)



黒小玉(甘い!!)



東京かぼちゃ

★スイカは16個実をつけています!



7月の農業塾の畑での実践
ちようどカボチャが採れ頃で、
欲しい人?にいち早く答えたり
塾生さんをお持ち帰りになり
ました。次回報告くくく

★富山からの受講生さん 熱心です!

—カリキュラム—

- | | | | | |
|--------|--------|----------------|-----------------|----|
| ■ 第1回 | 3月19日 | 自然栽培の基本的な考え方 | オリエンテーション | 終了 |
| ■ 第2回 | 4月9日 | 自然栽培の基本的な考え方 | 水脈整備/ジャガイモ植付等 | 終了 |
| ■ 第3回 | 4月30日 | 夏野菜の畑の準備 | 耕起 畝立て / マルチがけ等 | 終了 |
| ■ 第4回 | 5月21日 | 夏野菜の栽培方法 | 苗の定植 | 終了 |
| ■ 第5回 | 6月18日 | 夏野菜の栽培管理 | 整枝 / 剪定 | 終了 |
| ■ 第6回 | 7月23日 | 夏野菜の収穫 | 栽培管理 | 終了 |
| ■ 第7回 | 8月20日 | 秋冬野菜の栽培について | 自家採種について | 終了 |
| ■ 第8回 | 9月3日 | 秋冬野菜の種まき | 栽培方法について | 終了 |
| ■ 第9回 | 10月21日 | 秋冬野菜の収穫 | 育苗用培養土の作成方法について | 終了 |
| ■ 第10回 | 11月12日 | エンドウ類の栽培方法と種まき | 果樹栽培/まとめ | 終了 |



- ◆ 何日か続いた雨で畑が水浸しになりました。水切りを掘ってあったのですが、やはり去年まで田んぼだったこともあり、所々で浸水しました。それでも作物には大きな被害もなく安心しました。
- ◆ トマトは青枯れ病!! 実がついて育つ過程での青枯れ病なので、引き抜きましたが、付いた実は追熟して、今は毎日トマトです。

2023年 飛騨れんこん栽培 良い感じですよ！！



6月20日

今年は大幅に田んぼを作り替えました。

下の田んぼは畑にするために荒起こしをして土を盛った後、土壌改良のためにライ麦を撒きました。麦の力で今までの土壌から畑に適した土壌へと変えていくのです。

今年は春から天候が良く、いつもの年より農作業を始める時期が早かったのではないのでしょうか？

普段だと種れんこんの植え付けは5月の連休明けくらいに行うのですが、今年は何だかあちこちスケジュールが合わず、結局5月の下旬になってしまいました。

内心焦っていました。遅すぎた... と...

毎日田んぼを見回っては、まだ芽が出ない、葉が出ない、と心安まることはありませんでした。

1ヶ月後の6月20日、田んぼのあちこちに新芽が開き出しました。それでも、広い田んぼに数えられるだけの蓮根の葉です。大丈夫だろうかと不安は募るばかりでした。

7月2日、新芽がたくさん水面に出始めました。そして田んぼの雑草取りが始まりました。雑草を取り除くと、新しい芽がポコッと出てくるように感じるのです。この時が1番嬉しく思う時かもしれません。

生育を見届けて1週間上宝を離れました。

帰ってきてから毎日雑草取りに追われましたが、7月19日、最後の雑草取りになりました。ここまで葉が生い茂ると田んぼの中ではれんこんがあちこちに根を伸ばし始めているので踏んでしまう恐れがあるために入れなくなるのです。後はれんこんの生命力にお任せするしかありません。



7月2日



7月19日

10月の収穫まで約3ヶ月、どうか無事に育ってくれますように...

暑い毎日、皆さんお元気ですか？

昨年より一段と暑い夏ですね。朝から

クーラーをつけっぱなしの毎日で身体が冷えてしまうので、体調管理にも気をつけましょう！！

ビールに枝豆で塩分補給ですね。スイカも身体に良いので沢山食べましょう。暑さに負けず頑張ろう～～～

寝る前にお水を1杯！！ 起きてから1杯！！

